

日本産コガネムシ研究史 (11)

高橋 寿郎

1949. S.N. Medvedev : Fauna U.S.S.R., Scarabaeidae. Vol. X, № 3 : 1~371, 563 figs.

本書はソビエト連邦動物相大系 (Institut Zoologique de l'Academie des Sciences de l'URSS出版の叢書, Faun de l'URSS) シリーズの一つとして出版されたもので勿論動物全般に汎り次々発行される膨大なシリーズである。コガネムシ科は食葉類が5冊になって発行されている。之等の中には日本産のものがふくまれていることと大陸との近縁種の関係を知る上でも貴重な文献である。また現在の日本産コガネムシ科の分類は本書に取り上げられた分類法がとり入れられており、そう云った意味からも重要である。

日本産で本書に取扱れているのは20種であり中には吾々の現在の取扱と違う学名を使用したものもふくまれている。新属、新種の記載もふくまれているが日本産に関する限りない。

発行年代は本書が初めてであるが次の様に各号は発行されており夫々の年代の所で述べることにする。

Vol. X, № 1 (1951), № 2 (1952), № 4 (1960), № 5 (1964).

1950. 北隆館版: 日本昆虫図鑑.

(コガネムシ執筆者, 村山醸造, 中根猛彦, 新島善直, 湯浅啓温).

1950. 澤田玄正: *Mimela* 属とこれに属する日本産コガネムシに就いて

昆虫, XVIII(3): 10-11.

Mimela, *Anomala* 属の区別点である前胸突起のみで区別が困難であるとして同一属として取扱った方が良いのではないかとの論文。現在 *Anomala* 属を細分する学者もあり、筆者はむしろ統一した方が良いと考へている。

1950. 澤田玄正: カバイロピロウドコガネに就て

関西昆虫学会々報, XV(1): 18-22.

1938年にChapinが*S. similis*の♂交尾器に3型あることをもって *S. peregrina*, *S. lewisii* の3種を別けたがこの交尾器の変化は変異巾の中に入るとして *S. similis* 同1種と解釈すべきであるとの説、尤もこの種は現在 *Nipponoserica* 属である。さらに1976年には野村鎮氏により再検討されてどちらも独立種とされている。現在の日本産 *Nipponoserica* 属は7種1亜種を産する。

1950. 澤田玄正: 日本. 琉球. 台湾産のコガネムシ類
虫報, № 2 : 1-12, pl. 2.

I. *Glaphyrinae* 亜科の従来 *Anthypna* 属が *Amp-hicomia*, *Anthypnoides* 属が *Lichanthe* となる。

II. *Ectinohoplia gracilipes* (Lewis) を九州からの記録。

III. *Apogonia bicarinata* Lewis は台湾産 *A. sauteri* Moser と同一種であり九州にも産す。

IV. *Granida albolineata* Mots., の琉球, 台湾産をそれぞれ別亜種 subsp. *schöenfeldi* (Brenske), subsp. *taiwana* Sawada と区別する。

V. *Ohkubosus* 属と *Parastasia* 属との区別。

VI. *Oxycetonia forticula* (Janson) を *O. jucunda* (Faldermann) の亜種として取扱う。現在は独立種とあつかっている。

VII. *Paratrichus duplicatus* Lewis の台湾産を亜種として取扱う。

1950. 澤田玄正: 琉球列島のコガネムシ類.

東京農業大学農学集報, II (2): 257-317, pl. 25-28.

琉球列島のコガネムシ類の分類学的研究で本論文で9亜科45種を記録内5新種1新亜種の記載がある、即ち P. 264, 299-300, pl. XXVII, f. 9, pl. XXIII, f. 11, *Apogonia shibuyai* (Amami Ōshima). P. 265, 301-302, pl. XXVI, f. 14, *Lachnosterna loochooana* (Ishigaki-jima). P. 272.302-303, *Anomala ishigakiensis* = *Mimela* (Ishigaki-jima). P. 273~274, 303~305, pl. XXV, f. 7~9, pl. XXVII, f. 3, *Anomala esakii* (Yonaguni-jima, Ishigaki-jima). P. 277~278, 305~307, pl. XXVI, f. 11~13, pl. XXVII, f. 6, *Anomala matsumurai* (Ishigaki-jima). P. 279~280, 307~308, pl. XXVI, f. 15, *Anomala albopilosa yashiroi* (Okinawa Is., Miyako-jima, Ishigaki-jima).

1950. 野村鎮: クワガタムシとコガネムシの幼虫.

新昆虫, III (6): 190-194.

従来この仲間の幼虫の記載は断片的なものはあってもまとめられたものはなかった。ここに *Lamellicornia* の幼虫の検索表を図説された。注目に値する報文である。

1951. Nakane, T.: New or Little known Coleoptera from Japan and Its Adjacent Regions, VI.

Coprophagous Lamellicornia.

Entom. Rev. Japan, v(2): 69-72.

4種の糞虫の新種の記載であるが内2新種は北支那産である。日本産は次の2種である。

P. 70. *Aphodius* (*Acrossus*) *asahinai* (Honshu),

P.71. A. (Volinus) okadai (Honshu) (現在Chilothorax 亜属).

1951. S.N. Medvedev : Fauna U.S.S.R., Scarabaeidae, Vol. X, № 1 : 1~512, 953figs.

本書はSubfamily Melolonthinaeの内Tribe Melolonthini, Heptophyllini, Rhizotrogini に就いて述べられている。日本産は7種が記載されているが内1種は日本に産しない。

1951. Nomura, S. et Nakane, T. : On some new and remarkable species of Aphodiinae from Japan and Formosa. Kontyu, XI(2) : 35-47.

日本及び台湾産の糞虫類の新種及び新属の記載であるが内日本産は次のごとく11新種, 1新属, 1新記録種が記載されたその内2種は他の種のシノニムとなる。

P.35, Aphodius (Acrossus) unifasciatus (Honshu),

P.36, A. (A.) superatratus (Honshu). P.37, A. (A.) japonicus (Honshu). P.40, A. (Pharaphodius)

chokaiensis (Honshu). P.41, A. (Agrilinus) haseg-

eawai (Honshu). P.42, A. (A.) maritimus (Honshu)

=A. (A.) uniformis Waterh., A. (A.) hayachinensis

(Honshu). P.43, A. (A.) pratensis (Honshu). P.44,

A. (Tristaphodius?) gotoi (Honshu) = A. (Nipponaph-

odius), P.45, Rhyssemus tuberculatus (Honshu) =

R. samurai Balthasar, P.46, Mozartius testaceus (Honshu).

1951. 中根猛彦 : 日本のこがねむし(I)

昆虫学評論, V(2) : 97-100, pl. 5.

中根博士による日本のこがねむしの分類学的研究が始る。従来鯉角類 Lamellicornia を3科に別けられていたのを5科に別け亜科迄の検索表を示し, Family Trogidae の種迄の分類を行う。

1952. 中根猛彦 : 日本のこがねむし(II)

昆虫学評論, VI(3) : 21-24, pl. 5, 6.

本篇でFamily Geotrupidae の分類をおこなう。本報文中で Bolbocerosoma nigroplagiatum の中部以北産は f. nijima Nakane として f. typica と区別された, また Geotrupes auratus に f. viridiaurea, f. ruri の2型を新に命名されている。

1952. Nomura, S. : Neue Valgiden-Gattung aus Japan (Coleoptera, Scarabaeidae)

Mushi, XXIII(3) : 29-31.

屋久島産ヒラタハナムグリの新属新種の記載, 即ち Yanovalgus planiusculus Nomura.

1952. S.N. Medvedev : Fauna U.S.S.R., Scarabaeidae, Vol. X, № 2 : 1~274, 420figs.

本書は前1号につづき Subfamily Melolonthinae に属する, Tribe Pachydemini, Sericini, Diphy cerini,

Hopliini に就いて述べてあり 日本産は21種が記載されており内2新種が本書で記載されている。日本に産しない種が1種ふくまれている。新種記載は次の2種であるが1種は既知種のシノニムであり1種は既知種の型である。

P.121, f.165, Sericania kurilensis (Southern Kurile Is.—Shikotan) = S. sachalinensis (Matsumura).

P.235, Hoplia (Euchromoplia) modestula, 長崎県雲仙からの新種記載がある, 之は H. (s.str.) moerens Waterhouse f. nigrofusca Nomura となる。

1952. R. Didieret E. Séguy : Catalogue Illustré des Lucanides du Globe, Atlas.

112 plates (Paul Lechevalier Éditeur, Paris).

1952. 野村鎮 : 日本及びその近傍のコフキコガネに就て 桐朋学報, № 2 : 24~34.

日本及び台湾, 朝鮮産の近似種の区別点を論述したものである。本報文中で Melolontha masafumii (沖縄産), Tricholontha papagena (沖縄産, 新属) の2新種が日本から記録された。尚 Hoplosternus kinoshitai Jesar を M. satsumaensis Nijima et Kinoshita のシノニムとされた。

1952. J.W. Machatschke : Beiträge zur Kenntnis des Genus Mimela Kirby (Coleoptera, Scarabaeidae, Rutelinae).

Beitr. Ent., II(415) : 333~369.

本報文中日本産キンスジコガネを次の如く1新亜種として記載した。P.354, Mimela holoserica japonica Machatschke = Anomala.

1952. 野村鎮 : 日本未記録のコガネムシ2種

おとしぶみ, XI(1) : 4-6.

Phaeochrous emarginatus Casternau 及び Rhyparus peninsularis Arrow とともに九州からの記録, 後者は R. azumai Nakane で分布は本州, 四国, 伊豆諸島, 屋久島, 種子島, 中之島, 宝島, トカラ島, 沖縄と広い。

(V-1979)